

公益財団法人鉄鋼環境基金  
第 29 回定時評議員会議事録

日時 令和 6 年 6 月 24 日（月）13:30～14:30  
場所 鉄鋼会館 4 階 第 2 会議室  
東京都中央区日本橋茅場町三丁目 2 番 10 号  
オンライン併用（Microsoft Teams 利用）

評議員総数 9 名

出席評議員 6 名

鈴木 英夫	日本製鉄株式会社顧問
岡田 光正	公益財団法人国際エメックスセンター理事長、広島大学名誉教授、放送大学名誉教授
横川 晋太郎	電気事業連合会立地電源環境部長
泥 俊和	株式会社神戸製鋼所理事安全・環境部長
羽田 進	大同特殊鋼株式会社環境部長（オンラインでの出席）
内藤 敏幸	普通鋼電炉工業会事務局長

出席理事

亀谷 岳文	公益財団法人鉄鋼環境基金専務理事（議事録作成者）
-------	--------------------------

出席監事

高村 守	公認会計士
柏原 史隆	鐵鋼スラグ協会総務部長

議事概要とその結果

1. 定刻、事務局が出席評議員 6 名を確認し、定款第 26 条の定足数を満たしているため、評議員会の成立を宣した。次いで、定款第 25 条第 2 項に基づき、鈴木評議員会議長が議長になり議事に入った。

2. 決議事項

第 1 号議案 令和 5 年度事業報告及び承認の件

第 2 号議案 令和 5 年度決算報告及び承認の件

議長は、本案を上程し、事務局より令和 5 年度事業報告書について説明を行った。

次に、事務局より令和 5 年度財務諸表（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録を基に令和 5 年度決算報告について説明を行った。

これまで記載してこなかった会計区分毎の一般正味財産残高を令和 5 年度から記載することを説明した（会計区分毎の期首残高を算出し、当期増減額及び他会計振替を行い、会計区分毎の期末残高を求めた）。

引き続き議長は監事に対し監査報告を求めたところ、高村監事から監査の方法の説明に続き、監査結果として、理事の職務の執行状況について法令及び定款に違反する事実はないこと、また財務諸表等についても、法令及び定款並びに公益認定資料に準拠して作成されている旨の報告があった。

議長が、本案の可否を諮ったところ全員異議なく原案を承認した。

第 3 号議案 理事選任の件

議長は、本案を上程し、事務局より本評議員会終結のときをもって理事全員が任期満了退任するので、理事選任について説明を行い、議長が各候補者一人ずつについてその可否を諮ったところ、全員異議なく原案を承認した。

（就任） 令和 6 年 6 月 24 日付

田中 茂明 日本製鉄株式会社執行役員

片山 英治 JFE スチール株式会社スラグ事業推進センタースラグ企画部長

- (再任) 令和6年6月24日付  
 畠山 史郎 環境省環境研究総合推進費プログラムディレクター  
 竹内 浩士 一般社団法人産業環境管理協会執行理事  
 小澤 純夫 一般社団法人日本鉄鋼協会専務理事(業務執行理事)  
 田村 潤一 一般社団法人日本鉄鋼連盟技術・環境部長  
 井上 尚和 株式会社神戸製鋼所安全・環境部シニアプロフェッショナル  
 亀谷 岳文 公益財団法人鉄鋼環境基金事務局長
- (退任) 令和6年6月24日付  
 朝比奈 健 JFEスチール株式会社専務執行役員  
 泉山 雅明 日本製鉄株式会社環境政策企画部長(参与)

なお、任期については、定款第36条第1項により、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会(令和8年6月頃)の終結の時までとする。

#### 第4号議案 評議員選任の件

議長は、本案を上程し、事務局より評議員選任について説明を行い、議長がその可否を一人ずつ諮ったところ、全員異議なく原案を承認した。

- (補欠就任) 令和6年6月24日付  
 朝比奈 健 JFEスチール株式会社専務執行役員  
 泉山 雅明 日本製鉄株式会社環境政策企画部長(参与)  
 永山 純弘 一般社団法人日本産業機械工業会事務局長
- (辞任) 令和6年6月24日付  
 鈴木 英夫 日本製鉄株式会社顧問  
 仮屋 和広 JFEミネラル株式会社取締役福山製造所所長  
 石井 伸治 一般社団法人日本農業機械工業会専務理事

なお、任期については、定款第18条第2項により、退任した役員の任期の満了(令和9年6月頃)の時までとする。

### 3. 報告事項

事務局から、第15回(令和6年度)助成研究成果表彰、第45回(令和6年度)環境助成研究応募結果、令和6年度寄附金募集の3件について報告した。

岡田評議員から「カーボンニュートラル課題の人文系(法律・経済)分野への応募拡大等、募集方向性を見直しやそれに伴う審査員の専門分野変更等の必要性について、基金として検討する時期ではないか」、とのご提言をいただいた。重要なお提言と受けとめ、議論を進めていく。

### 4. 閉会

議長は、以上をもって上程された提案議案の全ての審議を終了したので、閉会を宣した。

以上

公益財団法人鉄鋼環境基金第29回定時評議員会の議事を証するため、議長及び出席理事はここに記名押印する。

令和6年6月24日

議長 鈴木 英夫

理事 亀谷 岳文